

## 大田っ子だより R6. 10. 8 文責 校長

### ～すばらしい伝統・文化を子どもたちが継承して～

10月17日(木)・18日(金)は、地域の白鬚田原神社で、毎年恒例行事であるどぶろく祭りが行われます。この祭りは1300年以上もの歴史があり、お祭りのお世話をする風習のとうや行事は、昔からの形式を継承してきていることから、国の無形民俗文化財にも指定されています。

このどぶろく祭りは、毎年本校の児童が、一部の行事で参加をしているものの、祭りそのものについてこれまで十分に学ぶ機会はなかったようです。



そこで、9月27(金)、地域にお住まいで、神社の宮司をなさっている河野さんにご来校いただき、子どもたちに神社のことやどぶろく祭りについて、お話をいただきました。

その中で、どぶろく祭りは、作物の実りに感謝し、その年に収穫した新米を使ってどぶろくを作り、神様に感謝の気持ちとしてささげているということや、どぶろくは新米と米麴と水で作ること、1350Lのどぶろくをつくっているというお話がありました。



また、お祭りで行く神輿行列は、年に1回、10月18日に行われ、神様が地域の様子を見に行くもので、神様をお守りするために鉄砲や槍を持って行列することも教えていただきました。

お話を聞いた子どもたちは、「どぶろく祭りには、たくさんの歴史や感謝の思いがあることがわかった」「10月18日は、一番大切な日であることがわかった」等、たくさんの感想を持つとともに、この行列に向けた地域の思いにふれる貴重な機会となったようです。

1300年もの間、時代や世代が変わっても、神社やお祭りに向けた大田地域の方々の思いは、変わらず今も続いています。脈々と続いてきたこのすばらしい伝統・文化を、今度は子どもたちにぜひ継承していただきたいと思います。

どぶろく祭り2日目となる18日、全校児童で神輿行列に参加する予定です。

### ～運動会をみんなでせいこうさせよう～

9月20日(金)に、代表委員会を行いました。議題は、①運動会のスローガンについて ②運動会に向けての取組についてです。事前に運営委員会が各クラスに提案し、ク

ラスで話し合ったことを、代表の子どもが会に持ち寄りました。

#### <運営委員会の提案>

##### (1) 運動会のスローガン

##### 「進んで 燃えろ 大田っ子」

※“進んで”は「進んで考え行動する」、「燃えろ」は、「最後まで全力を出し切る」という思いが込められている

##### (2) 万顔旗の作成

※自分の顔と運動会のめあてをかく

##### (3) 招待状の作成

※お世話になっている地域の方やおうちの人に運動会の招待状を送る

会では、「“燃えろ”は、やる気が出る」「がんばる気持ちが込められている」「地域の方にお世話になっているので、招待状を送りたい」等の、運営委員会の提案に賛成する意見がどのクラスからも出され、原案通り決定しました。

早速、万顔旗作りに取り組んだクラスもあり、運動会への機運が高まってきています。

### 児童会競技は大玉ころがしに決定

10月4日(金)、1時間目は、児童会競技の全校練習です。冒頭で、運営委員会の子どもたちから、「みんなの団結力が高まるし、協力してできる競技なので、児童会競技は大玉ころがしにしたいと思います。どうでしょうか」との提案がありました。一昨年度の運動会でも大玉ころがしをしており、3年生以上の子どもたちは、実際に経験しています。また、その当時こども園に在園中だった子どもたちの中には、競技の様子を見ていた子どももいるようです。

「みんなと協力してがんばれるから」と、全員が提案に賛成し、今年度の児童会競技は大玉ころがしに決定しました。

今後は、ペアの組み方や走る順番等の作戦を。組ごとに子どもたちが考え、練習を進めていきます。

10月4日(金)2時間目、児童会競技の練習に引き続き、応援練習がありました。初めての応援練習ということで、はじめに応援のめあてを全校で決めます。「大きな声で」「はっきりと」

「動きを大きく」「自信を持って」等のやる気に満ちた思いがたくさん発表されました。



後半は、各組に分かれて応援歌の練習です。子

どもたちが考えた運動会用の歌詞を歌謡曲に乗せて歌うので、この日は歌詞やメロディーを覚えることが中心でしたが、これから、めあてにあるように、“大きな声で・自信を持って”歌えるように練習を重ねていきます。